統計学(基礎)

第2回 データの準備と出力の利用

JASPで扱えるデータについて

データライブラリの場所

- データの場所
- C:\(\text{Program Files (x86)}\(\text{YJASP}\)\(\text{Presources}\(\text{Data}\)\)
 Sets\(\text{Data Library}\)

- ・データ単体はCSV形式
- JASPで保存するとJASP形式になる
 - 出力や設定とセットのファイルになる

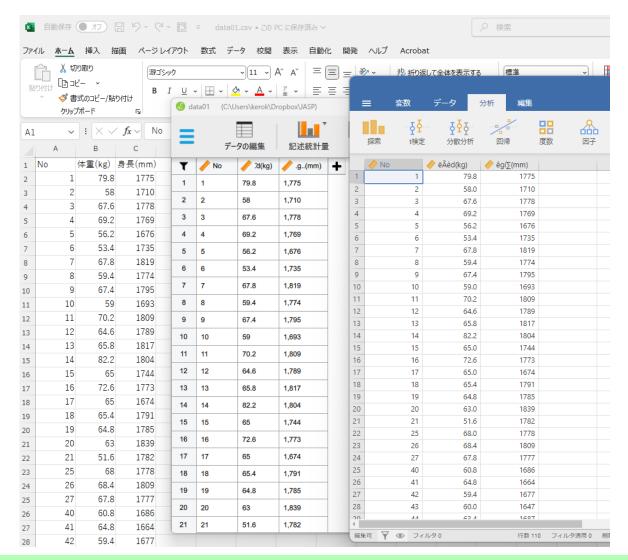
JASPで読み込めるデータ形式

一応いろいろ読める



実際に読んでみると

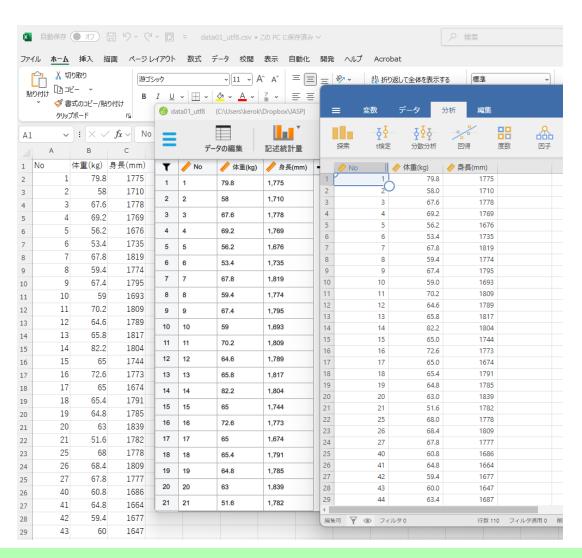
- CSV– (Shift-JIS)
- ・左から Excel JASP jamovi
- タイトルの日本語が読めない



実際に読んでみると

CSV UTF-8

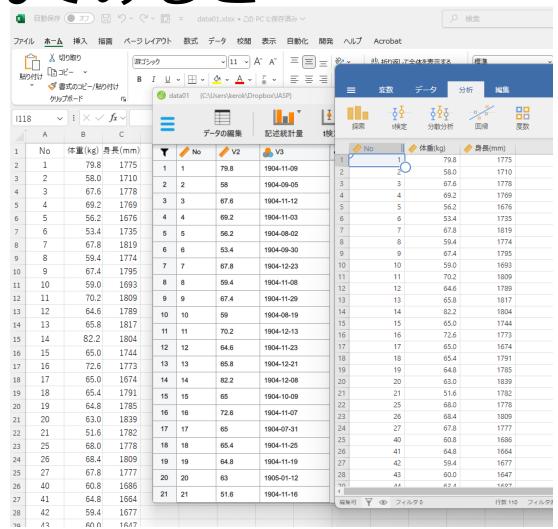
• ほぼ問題なし



実際に読んでみると

Excel

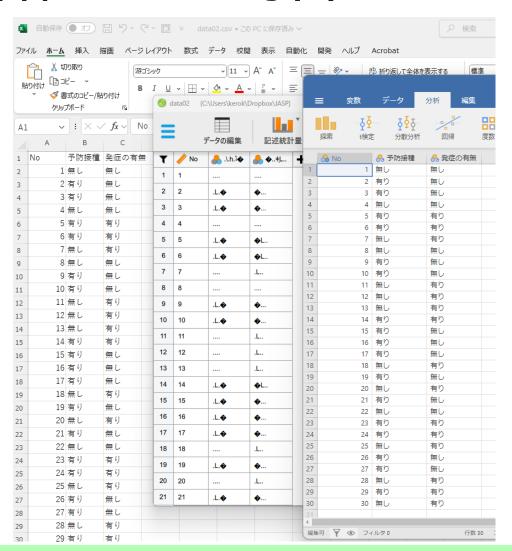
JASPはきついかも (Macだと問題ないことも多い)



データに日本語がある場合

CSV

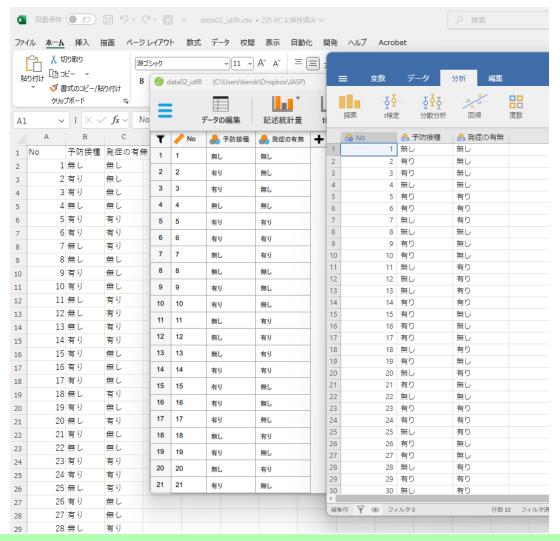
JASPはアウト



データに日本語がある場合

UTF-8

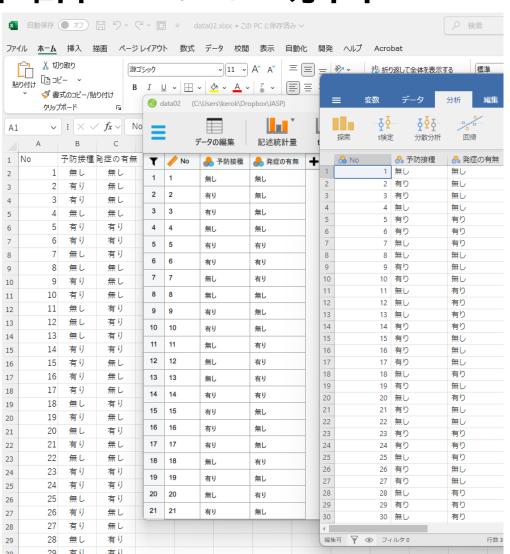
• ほぼ問題なし



データに日本語がある場合

Excel

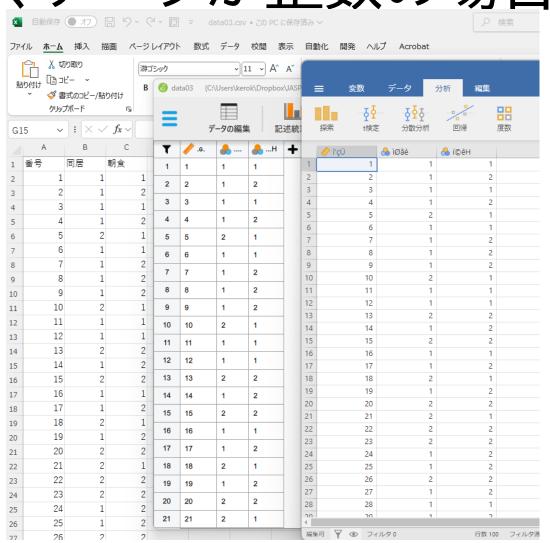
• これは問題なし



タイトルだけ日本語で、データが整数の場合

CSV

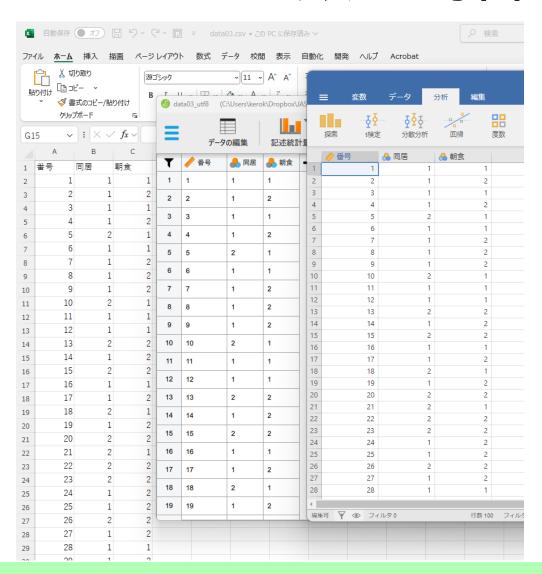
・タイトルがダメ



タイトルだけ日本語で、データが整数の場合

• UTF-8

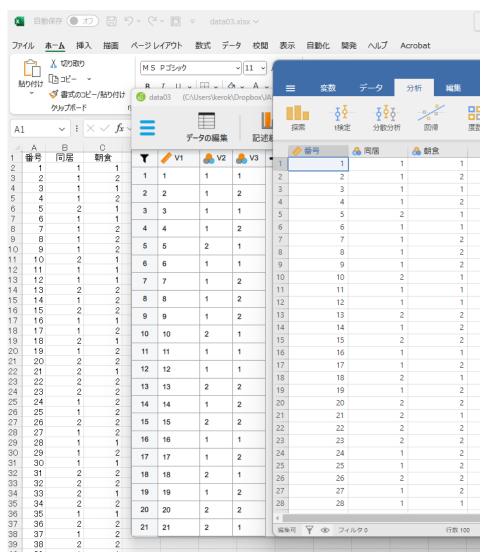
問題なし



タイトルだけ日本語で、データが整数の場合

Excel

• JASPはタイトルが置き換わる



データ入力形式

- ・ほぼ完璧なのはcsvのUTF-8
 - 普段はExcel形式で管理
 - JASPに渡すときにCSV(UTF-8)にする
 - CSVファイルは複数シートを持てないので注意

- 他のアプリケーションを使う場合も問題ない
 - jamoviに渡しても問題ない
- Mac版のExcelはUTF-8が原則だけど、Windows版はそうでもないので微妙なときがある

ムダ知識

- アプリがデータファイルを読み込むとき
 - CSVファイルはテキストファイルなので、文字コード情報は原 則持っていない
 - BOM (Byte Order Mark)を振ってあって、EF BB BFなら UTF-8、FF FE(FE FF)ならUTF-16と判断するアプリもある
 - 全体から「文字コードはこれかな?」と推測している
 - 1行目はデータ名として判断する
 - ・1行1列目から始まっていないとコケる
 - セル結合があるとコケる
 - ・空白が入っていると空欄の変数を作る

ムダ知識

- アプリがデータファイルを読み込むとき
 - 2行目以降からデータ本体と判断する
 - 2行目のデータを見て、その変数が文字なのか、数値なのか 判断する。文字と整数なら名義か順序、小数点データならス ケール(連続量)と判断する
 - いきなり欠損値だと、うまく行かないアプリがある
 - JASPは「列の種類」(名義、順序、スケール)がデータ情報 jamoviは「測定値型」(名義、順序、連続、ID)と「データ型」 (整数、小数、文字)の2種類で情報を持つ

名義データをどう入力するか

- 文字でそのまま入力する方がわかりやすい
- ・数値で入れた方がトラブルは少ない

- 日本語でもExcelファイルの内容を結構渡してくれる
- トラブルが起きる原因のほとんどはこれ

個人的な懸念

- ・アプリでの日本語の受け渡しはトラブルが多い
 - 昔は日本語が使えなかった
 - 文字コードセットの設定が複数ある(Shift-JIS UTF-8など)
 - 海外のソフトは、日本語の扱いに無頓着
 - ・日本語話者が少ないから
 - ・学術論文は英語がデファクトスタンダード

結論

- ・データ形式はCSVのUTF-8形式が最強
 - Webでも、WindowsでもMacでも大丈夫
- ・名義データは、日本語で入れてもまあ大丈夫かな
 - 古いデータを持ってくる場合にトラブルになることがある
 - 古いテキストデータは、BOMが無いことが多いので、文字コード 判定に難があることがある

統計学(基礎)

面倒くさいけど便利かもしれない

データラベル

ラベル

- 名義変数のデータを数値で入れると、その数値に対して表示上の文字を設定できる
- データ自体は元の数値のままなので、並び順は数字に なる

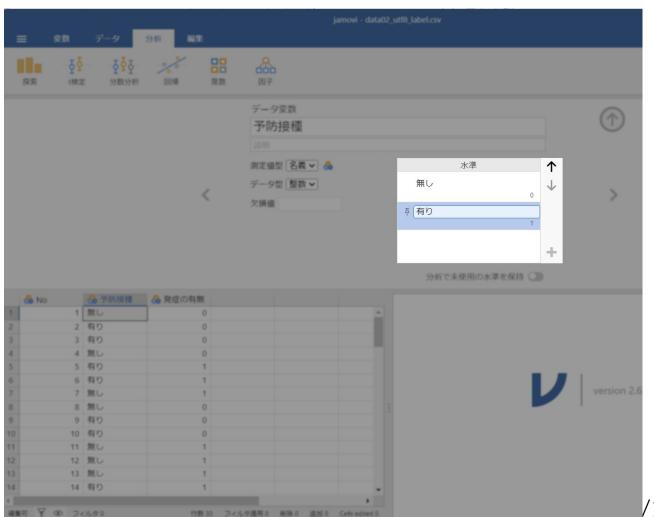
ラベル

- ラベルをつけると保存は JASP形式(*.jasp)
 - CSVではなくなる



ラベル

- jamoviでもできる
- jamoviファイル(*.omv)



ラベルの意義

- ・文字データでも一応大丈夫なのに、わざわざ数値にして ラベルをつけるのはなぜか
 - 日本語でのデータ入力を信用していないから
 - ラベルにすると、表示したい順番をコントロールできるから

ラベルの意義

- 表示順のコントロール
 - 文字のデータ(カテゴリ)だと、出力は文字コード順
 - ・それが、自分の望んだ順番とは限らない
 - 数値で入れてラベルにすると、数値の順で表示となる
 - 表示を望んだ順にできる

データラベル

・左 文字として入力 右 数値データにラベル

 da	ta03_1 (C:\U	sers\kerok\Dr	opbox\JASP)		∅ da	ta03_utf8 (C	:\Users\ker	ok\[)ropbox\JASI	P)
=	データ	の編集	記述統計量		=	分析	i	同	_	タのサイ
T	ℯℯ 番号	→ 居住	♣ 朝食	4	T	ℯ️ 番号	♣ 同居		🔒 朝食	
1	1	独居	食べる		1	1	独居	1	食べる	1
2	2	独居	食べない		2	2	独居	1	食べない	2
3	3	独居	食べる		3	3	独居	1	食べる	1
4	4	独居	食べない		4	4	独居	1	食べない	2
5	5	同居	食べる		5	5	同居	2	食べる	1
6	6	独居	食べる		6	6	独居	1	食べる	1
7	7	独居	食べない		7	7	独居	1	食べない	2
8	8	独居	食べない		8	8	独居	1	食べない	2
9	9	独居	食べない		9	9	独居	1	食べない	2
10	10	同居	食べる		10	10	同居	2	食べる	1

集計すると

・左 文字として入力 右 数値データにラベル

度数分布表 ▼

居住 の頻度 ▼

居住	頻度	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
同居	40	40.0	40.0	40.0
独居	60	60.0	60.0	100.0
欠損値	0	0.0		
合計	100	100.0		

朝食 の頻度

朝食	頻度	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
食べない	50	50.0	50.0	50.0
食べる	50	50.0	50.0	100.0
欠損値	0	0.0		
合計	100	100.0		

度数分布表

同居 の頻度

同居	頻度	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
独居	60	60.0	60.0	60.0
同居	40	40.0	40.0	100.0
欠損値	0	0.0		
合計	100	100.0		

朝食 の頻度

朝食	頻度	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
食べる	50	50.0	50.0	50.0
食べない	50	50.0	50.0	100.0
欠損値	0	0.0		
合計	100	100.0		

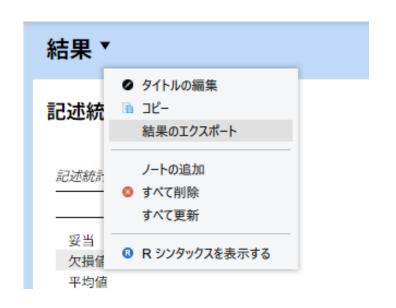
出力の扱い

JASPの出力

- コピペ可能コピー時はHTMLが原則TeXも可能
- ・ファイル出力は HTML PDF
- グラフは原則pngかtiff

出力の利用

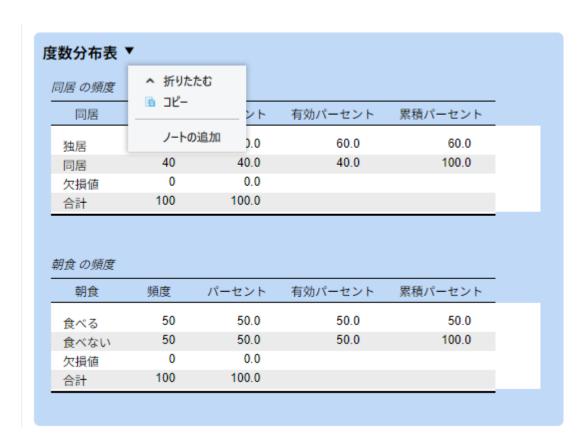
- · 全体
 - HTMLかPDF



ファイルの種類(T): HTMLファイル (*.html)
HTMLファイル (*.html)
ポータブルドキュメントフォーマット (*.pdf)

出力の利用

• 部分

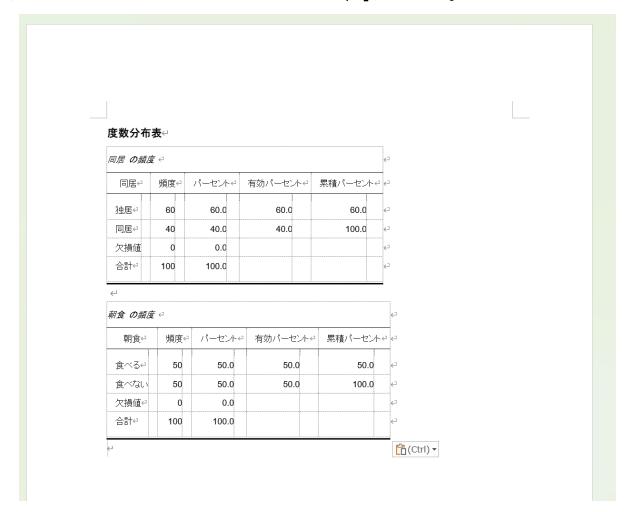


· 個別

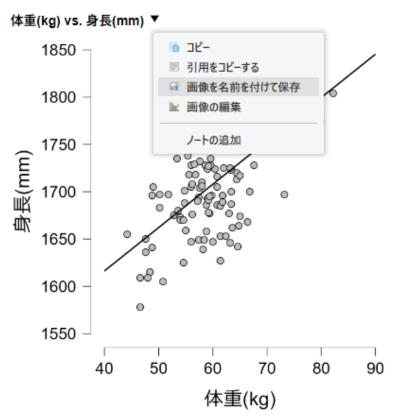


コピーをするとHTML形式

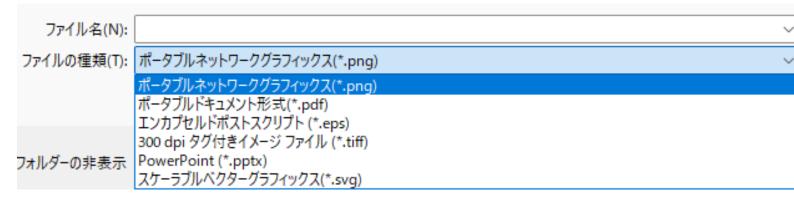
Wordへの貼り付け



• 形式



グラフ



※全体の一括保存を選択したときにグラフがあると、pngファイルとなって、HTML内で埋め込まれる

グラフ出力形式

- png
- tiff

ファイル名(N): マータブルネットワークグラフィックス(*.png) マータブルネットワークグラフィックス(*.png) ポータブルネットワークグラフィックス(*.png) ポータブルドキュメント形式(*.pdf) エンカプセルドポストスクリプト (*.eps) 300 dpi タグ付きイメージ ファイル (*.tiff) PowerPoint (*.pptx) スケーラブルベクターグラフィックス(*.svg)

- pdf
- pptx(PowerPoint)

まとめ

- 入力データはExcelでCSVのUTF-8形式で作成する といい
- 名義データは数値で入力して、JASPでラベルをつけた 方がいい
- 出力は、場合によってはExcel等で編集した方がいい
 - 棒グラフや円グラフ、ヒストグラム等の基本グラフは、Excel の方が編集しやすくていいかもしれない